

鹿児島県立開陽高等学校

団体の紹介・活動の目的

本校は、三課程を有する県内唯一の単位制高校で、開校17年の新しい学校です。校訓は「夢・実現」。自由な校風で、全県下から生徒が通学します。全日制は、普通科と福祉科が設置されています。福祉科は、介護福祉士養成校として、地域の社会福祉施設と連携しながら、質の高い介護人材の育成を目指しています。ボランティア活動も盛んで、地域に開かれた学校教育を展開しています。

全国的に少子高齢化が進む中、子供から高齢者まで、あらゆる世代や多様な福祉ニーズに対応できる専門性の高い介護福祉士の育成を目標に、地域に根ざした施設や団体等と連携した学びを効果的に行いながら、地域福祉の課題解決につなげられるような生徒主体の活動を企画・実践し、地域福祉の充実に貢献しています。

連携・協力している団体など

市南部保健センター、市高齢者福祉センター谷山、市南部親子つどいの広場、市長寿あんしん相談センター、鹿児島県立盲学校、県くらし保健福祉部、鹿児島国際大学福祉社会学部、社会福祉法人旭生会、社会福祉法人野の花会、社会福祉法人喜入会、社会医療法人緑泉会、谷山中学校、西谷山小学校、鹿屋市柳谷町内会（やねだん）、西谷山地区民生委員連絡協議会など。

**① 「地域の親子との交流」**

子育て世代の課題解決の一環として、鹿児島市南部親子集いの広場「たにっこりん」で、複数の交流会と子どもの発達段階にあったレクリエーションの企画と実践を行いました。

**② 「県内初！高校生が開催する『開陽にじいろカフェ』」**

県内では、初めて高校生が認知症カフェを開催しました。地域の方が気軽に集え、専門的な相談もできる場として、地域の高齢者から「出前カフェ」も要請され、喜ばれています。

**③ 「小学生出前授業『聞こえないってどんなこと？』」**

西谷山小学校4年生に対して、生徒が出前授業を行いました。授業の中で障害のある人もない人も助け合う「共生社会」実現のために、学んだことを今後活かしていくと答えていました。

**④ 「中学生来校授業『介護のイメージを変えよう！』」**

谷山中学校2年生に対して、来校授業を行いました。地域の施設等からも協力していただき、体験を通して先進的な介護を理解してもらうことで介護のイメージアップを図りました。